

ブラジャー装着に関わる意識 および行動の母娘の関係性

庄 莉莉^{1*}, 村上かおり¹, 鈴木 明子¹

The Correlation Between Mothers and Daughters with Respect to Knowledge and Behavior in Wearing Brassieres

Lili ZHUANG^{1*}, Kaori MURAKAMI¹ and Akiko SUZUKI¹

Brassieres are one of the essential necessities for most women, but many previous researches have highlighted the difficulties encountered by adolescent girls in wearing bras and the need for guidance. The purpose of this study is to investigate through questionnaires both mothers' and daughters' knowledge and behavior in wearing bras in response to physical changes of puberty, to analyze the correlation between mothers and daughters, and to reveal the implications for underwear education. The results showed that both mothers and daughters lacked knowledge, and did not choose the most suitable bras. Moreover, there was no correlation between mothers' and daughters' knowledge/ understanding and interest/desire to learn, but it did show that the mothers' behavior influenced that of their daughters. With their lack of knowledge with respect to brassieres, mothers were not confident about educating their daughters, and expected schools to undertake this task. Therefore, it may be concluded that both mothers and daughters need underwear guidance and a platform to enable both parties to communicate better.

Key words : Brassiere ブラジャー, Home economics education 下着教育, The relationship between mothers and daughters 母娘の関係性

1. 緒言

下着は上着の土台として現代の衣生活に不可欠であり、自分の体形を把握し、着用目的に応じて健康で快適な下着の選択や装着ができることが求められる。女性の多くは、第二次性徴期から生涯、毎日ブラジャーを着けており、ブラジャーは現代女性の生活必需品となっている。

高部ら(1998)によると、他者によるからだつきの評価にはシルエットが関係し、バストの高さとシルエットの美しさには相関があることが明らかになっている¹⁾。また知念ら(2009)は、シルエットの審美性にブラジャーの形態が影響を及ぼすことを示した²⁾。このことから、美しいと評価される衣服の着装には、適切なブラジャーを選択する必要があると考えられる。特にブラジャーは正しい装着方法が着用感や審美性に影響を及ぼすため、下着メーカーはそれぞれのWebサイトを活用し周知するよ

うにしている³⁾⁴⁾。

以上のことから女性の第二次性徴期以降の乳房の発達やブラジャー装着に関する正しい知識をどのように伝え、発達に応じたブラジャーの適切な装着について学習することは重要な課題である。

山田ら(1995)は、中学生、高校生、大学生の下着素材や装着理由の認識の程度に違いがあることから、被服衛生分野の指導を提唱した⁵⁾。佐野ら(1997)は、下着売り場での母子下着教室において、婦人科医師や学校の養護教諭にインタビューし、ブラジャー装着とブラジャー装着に関する教育の意義を強調している⁶⁾。また、福本(1998)は、小・中学校の家庭科には、早い時期から成長期にある女子児童・生徒を対象としたブラジャーやスリッパの下着教材が必要であることを指摘した⁷⁾。このように第二次性徴期における女子のブラジャー装着の課題とブラジャー装着に関する教育の必要性が明らかに

所属機関名：¹⁾広島大学大学院教育学研究科

¹⁾Graduate School of Education, Hiroshima University

原稿受付：2019年4月23日 原稿受理：2019年12月17日

* To whom correspondence should be addressed E-mail : d184533@hiroshima-u.ac.jp

されているものの、研究や教育において、この課題は解決されず、現在に至っている。

一方、増田ら(2016)は、母親との衣に関するコミュニケーションの量が、娘のファッション観に影響を与えることを明らかにしている⁸⁾。また、細谷らによる研究(2007)では、保護者の衣生活への関心の高さが子どもの衣生活への関心の高まりに影響を与える可能性を指摘した⁹⁾。さらに、こどもを育てる過程における日々の衣服の着装体験やそれに対する周りのしつけや影響は、こどもに人の協動的社会的役割を考慮した個の表現を経験させ、自覚を促し成長を助ける一要因となっている⁸⁾。女性の生涯発達理解は、母親との関係を抜きにして論じることができない。したがって、母親は娘のブラジャー装着に関する教育において重要な役割を担っていると考える。

教育家庭新聞が行った小学5年生から中学2年生までの女子600人とその年代の子どもをもつ保護者を対象とした調査(2001, 2002)¹⁰⁾¹¹⁾によると、子どもが下着と一緒に買いに行くのは母親が最も多く、情報源と感じていることがわかった。しかし、多くの母親は自分には下着に関する知識が十分ではないと感じ、子どもと下着について会話をしているのは30%程度であった。またワコールの調査(2012)¹²⁾では、小学校4年生～中学校1年生の娘を持つ母親は、体の成長や初めてのブラジャーに関しては不安を持っていること、「知識の不安」は母親のコミュニケーションに影響することを明らかにした。しかし、母親とその娘を対象とした調査ではないため、母親のブラジャー装着に関する意識や行動が娘の意識や行動にどのような影響を及ぼしているのかはわからない。したがって母娘間のブラジャー装着に関する意識や行動の関係性を検証する必要がある。

そこで、本研究では、母親と娘のそれぞれのブラジャー装着に関する意識や行動の実態を明らかにし、母娘間の関係性を分析することによって、今後の第二次性徴期におけるブラジャー装着に関する教育の在り方に対する示唆を得ることを目的とした。

2. 方法

(1) 調査期間および調査方法

調査期間は2017年6月～7月、女子高校生及びその保護者170組の調査用紙を対象校の校長に郵送し、授業外に家庭科教師から女子生徒に調査の主旨を説明し、教師指導の元、母娘同封で家に持ち帰らせた。また、調査の主旨を説明する依頼書および同意書を調査用紙に同封し、自宅で無記名の形で回答してもらい、学校で回収した。

(2) 調査対象

調査対象は広島県内の県立A高等学校へ通う女子高校生およびその保護者(母親)であった(女子高校生は以下、娘とし、保護者は以下、母親とする)。A学校は広島市の郊外に位置し、普通科のみで、1学年5クラスの中規模校である。

(3) 調査内容

分析項目および回答選択肢はTable 1の通りである。基本属性を問う2つの項目以外に、母娘のブラジャー装着に関わる意識および行動をとらえるために、「乳房の発達に関する内容」と「ブラジャー装着に関する内容」、およびそれらの「教育・学習に関する状況」を加え、3つの内容枠組みを設定した(娘14項目、母親15項目)。それらを、娘、母親別に、回答者の「知識・理解」、「実態・行動」、「関心・意欲」を問う枠組みに再構成し、観点別に分析を行った。その中で、1-3、5-6、8-10、12の9項目の質問内容は母娘で同一であり、4、7、11、13の4項目の内容は同一であるが、娘には自分自身のことを聞き、母親には娘のことを聞くものであった。また、娘の項目14と母親の項目14、15は違う質問内容であり、娘の「知識・理解」の項目14は、母親の「実態・行動」の項目14と15を娘の実態に照らして考察するために必要な設問であると考え、設定した。

(4) 分析方法

まず、Table 1に示した各項目の選択肢ごとの回答率について、娘と母親の「知識・理解」、「実態・行動」、「意欲・関心」の観点別の結果をそれぞれTable 2～4に示した。次に、母娘の観点別の関係性については、Table 1に示すとおり、各項目の最も望ましい選択肢の評価点を10点として、選択肢ごとに得点を定め、回帰係数を算出して分析した。また、母娘の意識等の関係性については、ピアソンの相関係数を用いた。調査の集計および解析にはExcel(2016)を使用した。また、統計ソフトSPSS(IBM SPSS Statistics 22)を用いて分析、考察した。

尚、本研究は所属大学の研究倫理審査を受け承認された。

3. 結果および考察

調査用紙の回収率は娘37.6%(64部)、母親35.3%(62部)であった。その中でTable 1の分析項目に全て回答した母娘39部を対象にし、有効回収率は22.9%であった。

(1) 調査対象の属性

女子高校生の娘の年齢構成について、15歳(48.7%)と16歳(38.5%)の割合が高かった。母親について、40

ブラジャー装着に関わる意識および行動の母娘の関係性

Table 1 調査内容の構成

調査内容	娘			母親		
	項目内容	選択肢	評価点	項目内容	選択肢	評価点
基本属性	属性	あなたは今、何歳ですか？	(1) 15歳 (2) 16歳 (3) 17歳 (4) そのほか	属性	あなたは今、何歳ですか？	(1) 30代 (2) 40代 (3) 50代 (4) その他
		次の中から一緒に住んでいる人をすべてあげてください。	(1) 父、母、兄弟、祖父、祖母 (2) そのほかの人 (3) 下宿・寮などで家族と離れて生活している		現在、仕事をしていますか？	(1) していない (2) パート (3) 会社員及び公務員、自営業
乳房の発達	知識・理解	1. 乳房発達のstep1「初潮の1年以上前からバストが膨らみ始める」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	知識・理解	1. 乳房発達のstep1「初潮の1年以上前からバストが膨らみ始める」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない
		2. 乳房発達のstep2「初潮を迎える頃にはふくらみが横にひろがる」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない		2. 乳房発達のstep2「初潮を迎える頃にはふくらみが横にひろがる」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない
		3. 乳房発達のstep3「初潮から3か月～1年頃には立体的に膨らむ」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない		3. 乳房発達のstep3「初潮から3か月～1年頃には立体的にふくらむ」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない
ブラジャー装着	知識・理解	4. どのような下着を着るかは健康に影響を及ぼすと思いますか？	(1) とても思う (2) 思う (3) あまり思わない (4) 思わない	知識・理解	4. どのような下着を着るかは娘さんの健康に影響を及ぼすと思いますか？	(1) とても思う (2) 思う (3) あまり思わない (4) 思わない
		5. 思春期の乳房は大人の乳房と違うので、成長期向けのブラジャーがあることを知っていますか？	(1) 知っている (2) 知らない		5. 思春期の乳房は大人の乳房と違うので、成長期向けのブラジャーがあることを知っていますか？	(1) 知っている (2) 知らない
		6. ブラジャーのサイズ表示のB75(例)は具体的に何のサイズを指すか分かりますか？	(1) よく分かる (2) 分かる (3) あまり分からない (4) 分からない		6. ブラジャーのサイズ表示のB75(例)は具体的に何のサイズを指すか分かりますか？	(1) よく分かる (2) 分かる (3) あまり分からない (4) 分からない
14. ブラジャーの次の役割について、知らなかったことがありますか？(複数回答)	(1) 衛生を保つ (2) プロポーションやボディを美しく整える (3) 体の保温 (4) スタイルを保つ (5) 運動をサポートする (6) 精神的に安心感を与える					
乳房の発達	実態・行動	7. 自分の乳房が膨らみ始めた時期はいつでしたか？	(1) 具体的時期 (2) 覚えがない/分からない	実態・行動	7. 娘さんの乳房が膨らみ始めた時期はいつでしたか？	(1) 具体的時期 (2) 覚えがない/分からない
8. 自分のブラジャーのサイズが分かりますか？		(1) 分かる (2) 分からない	8. ご自身のブラジャーのサイズを知っていたら教えてください。		(1) 分かる (2) 分からない	
ブラジャー装着	実態・行動	9. 現在、ブラジャー購入時の試着や採寸状況はどうですか？	(1) 採寸と試着どちらもした (2) 採寸だけした (3) 試着だけした (4) 両方しなかった	実態・行動	9. あなたはブラジャー購入時に試着や採寸をしていますか？	(1) 採寸と試着どちらもした (2) 採寸だけした (3) 試着だけした (4) 両方しなかった
10. ブラジャーの洗濯や干し方は正しい方法で行っていますか？		(1) よく行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10. ご自身のブラジャーの洗濯や干し方は正しい方法で行っていますか？		(1) よく行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	
教育・学習	実態・行動	11. 月経、乳房の変化やブラジャーについての身近な女性(お母さんなど)やその他の家族と話したことがありますか？	(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	実態・行動	11. 娘さんと月経、乳房の変化及びブラジャーについて話したことがありますか？	(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない
		14. ブラジャーの以下のことについて娘さんに教えましたか？(複数回答)	(1) ブラジャーの役割やつける意義 (2) ブラジャーの洗濯方法とブラジャーの干し方 (3) ブラジャーの取納方法 (4) ブラジャーの取り扱い表示の見方 (5) 衛生的に毎日着替える (6) ブラジャーの選びポイント (7) すべて教えたことがない		14. あなたは自分の成長期向けのブラジャーに関する知識、情報についてどう思いますか？	(1) 正しい知識をもっている (2) どちらかといえば正しい (3) どちらかといえば正しくない知識をもっているが不安 (4) 正しくない知識をもっているが不安
教育・学習	関心・意欲	12. 乳房の変化とブラジャーについてもっと知りたいですか？	(1) とても知りたい (2) 知りたい (3) 知らなくていい	関心・意欲	12. 乳房の変化とブラジャーについてもっと知りたいですか？	(1) とても知りたい (2) 知りたい (3) 知らなくていい
		13. 学校でブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) とても教えてほしい (2) 教えてほしい (3) あまり教えてほしくない (4) 教えてほしくない		13. 学校で娘さんにブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) とても教えてほしい (2) 教えてほしい (3) あまり教えてほしくない (4) 教えてほしくない

- 母娘の質問内容が同一の項目
- 母娘の質問内容が同一であるが、聞き方が違う項目
- 母娘の質問内容が違う項目

Table 2 知識・理解における母娘の項目回答率

	項目内容	選択肢	回答率 (%)	
			娘	母親
知識・理解	1. 乳房発達の step1	(1) 知っている	10.2	53.8
		(2) 聞いたことがある		
		(3) 知らない	89.8	46.2
	2. 乳房発達の step2	(1) 知っている	5.2	38.5
		(2) 聞いたことがある		
		(3) 知らない	94.8	61.5
	3. 乳房発達の step3	(1) 知っている	10.3	35.9
		(2) 聞いたことがある		
		(3) 知らない	89.7	64.1
	4. 下着が健康に影響を及ぼすこと	(1) とても思う	46.2	71.8
		(2) 思う		
		(3) あまり思わない	53.8	28.2
		(4) 思わない		
	5. 成長期向けのブラジャー	(1) 知っている	48.7	48.7
(2) 知らない		51.3	51.3	
6. ブラジャーのサイズ表示	(1) よく分かる	51.3	92.3	
	(1) 分かる			
	(2) あまり分からない (2) 分からない	48.7	7.7	
14. ブラジャーの役割に対する理解の欠如	(1) 衛生を保つ	17.9		
	(2) プロポーションやボディを美しく整える	7.7		
	(3) 体の保温	25.6		
	(4) スタイルを保つ	17.9		
	(5) 運動をサポートする	12.8		
	(6) 精神的に安心感を与える	59.0		

項目内容は略されたもので、詳しくは Table 1 の調査内容に参照

Table 3 実態・行動における母娘の項目回答率

	項目内容	選択肢	回答率 (%)	
			娘	母親
実態・行動	7. 乳房の膨らみ始めた時期	(1) 具体的時期	48.7	92.3
		(2) 覚えなし/分からない	51.3	7.7
	8. 自分のブラジャーのサイズ	(1) 分かる	51.3	82.1
		(2) 分からない	48.7	17.9
	9. ブラジャー購入時の試着や採寸状況	(1) 採寸と試着どちらもした	51.3	56.4
		(2) 採寸だけした		
		(3) 試着だけした		
		(4) 両方しなかった		
	10. ブラジャーの正しい洗濯方法 や干し方	(1) よく行っている	41.1	56.4
		(2) 行っている		
		(3) あまり行っていない		
		(4) 行っていない		
	11. 月経、乳房の変化やブラジャーについての相談頻度	(1) よくある	66.7	41.1
		(2) ある		
		(3) あまりない		
(4) ない				
14. ブラジャーについて娘さんに教えたこと(複数回答)	(1) ブラジャーの役割やつける意義			
	(2) ブラジャーの洗濯方法とブラジャーの干し方			
	(3) ブラジャーの収納方法			
	(4) ブラジャーの取り扱い表示の見方			
	(5) 衛生的に毎日着替える			
	(6) ブラジャーの選びポイント			
	(7) すべて教えたことがない			
15. 自分がもっている知識、情報について	(1) 正しい知識をもっている			
	(2) どちらかといえば正しい			
	(3) どちらかといえば正しくない知識をもっているが不安			
	(4) 正しくない知識をもっているが不安			

項目内容は略されたもので、詳しくは Table 1 の調査内容に参照

Table 4 関心・意欲における母娘の項目回答率

	項目内容	選択肢	回答率 (%)	
			娘	母親
関心・意欲	12. 乳房の変化とブラジャーの学習意欲	(1) とても知りたい	41.0	79.5
		(2) 知りたい		
	(3) 知らなくていい	59.0	20.5	
	(4) 教えること			
13. ブラジャーについて学校で教えること		(1) とても教えてほしい	46.1	79.5
		(2) 教えてほしい		
	(3) あまり教えてほしくない	53.9	20.5	
	(4) 教えてほしくない			

#項目内容は略されたもので、詳しくはTable 1の調査内容に参照

代が79.5%と最も多く、30代が5.1%、50代が15.4%であった。母親の職業について、74.4%がパートタイム勤務で、15.4%がフルタイム勤務であった。また、生活形態について、下宿・寮などで家族と離れて生活している娘はおらず、全員母親と一緒に住んでいた。

(2) ブラジャー装着に関する娘と母親の意識および行動

1) 知識・理解

①娘

知識・理解を問う項目として捉えた項目1-6, 14について、Table 2に示したように、乳房の発達について問うた項目1-3では、「知らない」の回答率は項目1と項目3が90%に近く、項目2が90%を超え94.8%に至った。乳房の発達に関する知識をもち自分の乳房の発育状況を把握することは、発達に合った適切なブラジャー選択の前提であるが、ほとんどの娘は、高校生に至るまで乳房発育の順序やプロセスが分からないと答えた。多くの第二次性徴期の女子は乳房の発達に関する知識をもっていない実態が明らかになった。また、項目4, 5, 6では、肯定的な回答と否定的な回答はいずれも拮抗していた。即ち、半数ほどの娘はブラジャーを含む下着全般が発達や健康と関係していることを認識しておらず、成長期向けのブラジャーのあることを知らず、すでにブラジャーを着けていてもブラジャーのサイズ表示の具体的な意味が分からないと回答した。また、項目14の下着の6つの役割では、ブラジャーは下着としての基本的役割である保温や衛生機能について、知らない者はそれぞれ25.6%、17.9%を占めた。ブラジャーの6つの役割の中で「知らない」と回答した割合が最も高かったのは「(6) 精神的安心感を与える」で、59.0%に上った。他の役割を「知らない」者は少数であることから、ブラジャーの役割を限定的に捉えている実態が明らかになった。

第二次性徴期における女子高校生の娘はブラジャーの役割をある程度理解はしているが、乳房の発達について

の知識をほとんどもっておらず、ブラジャーについての認識が不足しており、全体的に第二次性徴期に関わるブラジャー装着に関する知識・理解が低いと考えられる。

②母親

項目1-3の乳房発達の3つのステップについて、「知らない」と回答した母親はステップ1は40%を超え、ステップ2, 3は60%以上に上った。これらの発達過程を経験し、第二次性徴期の娘をもっている母親でも、乳房発達のプロセスについての理解が欠如している者が多いという実態が見られた。また、項目4では、71.8%の母親はブラジャーを含む下着全般が娘の健康に影響を及ぼしていることを認識していたが、項目5では約半数の母親は成長期向けのブラジャーがあることを知らず、娘と同様に多くの母親のブラジャーへの認識が不足している現状が見られた。項目6のブラジャーのサイズ表示の認識について、その具体的な意味が分からない母親は7.7%と少数であったが、長年ブラジャーを着けている女性でもブラジャーのサイズ表示の意味が分からない者がいるということが示された。

以上のことから、乳房の発達やブラジャー装着についての母親の知識・理解はそれほど高くない実態が明らかになった。

2) 実態・行動

①娘

Table 3に示したように、実態・行動を問う項目として捉えた7-10の4項目とも否定的な回答が半数程度を占めた。項目7で否定的な回答をした高校生の娘は乳房の膨らみ始めた時期を意識していなかったことが示された。このことは乳房発育の順序やプロセスについての知識の欠如に繋がり、乳房の発達が重視されていない結果と関係していると考えられる。項目8, 9により、ブラジャーを着けることに慣れ始める第二次性徴後期に至っても、まだ半数近くは自分のブラジャーのサイズが分からず、同じ半数近くは購入する際に試着も採寸も行っていない実

態が分かった。項目8と項目9についてクロス集計で相関係数を算出した結果、相関が見られた ($r=0.427$, $p<0.01$)。自分のブラジャーのサイズが分からないと回答した者は、購入時に試着も採寸もしない傾向が見られ、自分の体に合わないブラジャーを買った可能性が高いと考えられる。また、項目10の否定的な回答は半数を超え約60%に至り、ブラジャーの手入れについての実践も不足していると言える。自分のブラジャーの手入れ方法が正しいか間違っているか確かめずに、自分のやり方で続ける人も多いと思われ、その指導の普及が求められていると考えられる。

一方、項目11では肯定的回答は特に60%以上を占めたが、まだ33.3%の娘は月経、乳房の変化やブラジャーについて身近な女性やその他の家族と相談しない、あるいは話しづらい状態であることが明らかになった。第二次性徴に関わるブラジャー装着に関する実態・行動はあまり望ましくないと言える。

②母親

まず、母親自身のブラジャー装着の実態・行動を問う項目として捉えた8-10の3つの項目をみると、項目8では82.1%の母親は自分のブラジャーのサイズが分かるかと回答したが、項目9では43.6%の母親はブラジャーを購入する際に試着や採寸をしないと回答した。自分のサイズが分かっていると思っていても、実際には自分に合わないブラジャーを買ってしまう可能性も高いと考える。また、項目10ではブラジャーの手入れ方法について、正しい方法で行っているかと聞いたところ、「あまり行っていない」、「行っていない」と回答した母親は合わせて43.6%に上り、これらの母親は正しい方法を確認せずに手入れを行っていることが推察できる。以上のことから、多くの母親は自分のブラジャーのサイズが分かる一方、長年ブラジャーを着けてきた女性でも自分のブラジャーのサイズが分からない者がみられ、ブラジャー購入時の試着採寸状況とその正しい手入れの実践状況は望ましくない実態が示された。

また、娘との関わりやブラジャー装着に関する教育についての実態・行動を問う項目として捉えた項目7, 11, 14-15について、項目7では、92.3%の母親は娘の乳房の膨らみ始めた具体的な時期を回答した。娘の発達状況を観察し僅かな変化にも気づいている母親の姿がみられた。これに対して、項目11では半数を超える母親は娘と月経、乳房の変化およびブラジャーについてあまり話し合っていない、あるいは話し合ったことがない現状がみられた。項目14では、ブラジャーについての6つの内容をすべて娘に教えたことのない母親は17.9%を占めた。多くの母親が娘に教えたのは「(6) ブラジャーの選びポイント」(46.2%)と「(1) ブラジャーの役割やつける意義」

(41.0%)であった。その次は「(5) 衛生的に毎日着替える」33.3%であった。また、ブラジャーの手入れ方法についてはあまり娘に教えていない現状が明らかになった。さらに、ブラジャーの取り扱い表示の見方について娘に教えた母親も12.8%にとどまった。母親たちは娘の乳房の発達について重視している一方、乳房の成長に関わるブラジャーについて注意を向けていない傾向がみられた。さらに、項目15では、自分の成長期向けのブラジャーに関する知識や情報について不安を感じている母親は64.1%を占めた。母親は家庭でのブラジャー装着に関する教育に重要な役割を担っているが、知識の欠如によって家庭でのブラジャー装着に関する教育の質は低いと推察できる。

3) 関心・意欲

①娘

ブラジャー装着に関する関心・意欲を問う項目として捉えた項目12, 13では、Table 4に示したように否定的な回答をした娘はいずれも半数を超えた。多くの娘は乳房の発達やブラジャーについてあまり関心をもたず、ブラジャーの着用や選び方を学校で教えてほしいとは思わない実態がみられた。学校で教えてほしくない理由について自由記述で問うたところ、「自分のはずかしいことが知られてしまうから」、「家の人と相談したほうが安心するから」、「家で実践したほうがいいと思うから」が挙げられた。ブラジャー装着というプライベートなことが公的な場で他人に知られてしまうことに対する抵抗がみられた。また、ブラジャー装着に関する学習の場は家庭であるという認識が強いことも示され、家庭でのブラジャー装着に関する教育を充実させる必要が認められた。

②母親

母親の方は、乳房の変化とブラジャーについて「もっと知りたい」、「知りたい」と回答した者は80%近くみられた。自分の乳房発達やブラジャー装着の知識に対して自信をもっておらず不安と感じていた母親が多いことから、それらについての学習意欲は高いと推測できた。また、項目13では、79.5%の母親が学校で娘にブラジャーの着用や選び方を教えてほしいと回答した。娘本人より、母親の方が娘に学校でそれについて学ばせたいと考えていることが明らかになった。母親たちは娘に対して学校教育における系統的科学的な学習を望んでいることが示された。

(3) ブラジャー装着に関する母娘間の意識の関係性

知識・理解、行動・実態および関心・意欲といった観点別に母娘のブラジャーに関する意識および行動の関係性を見るため、一人ひとり10点満点化して算出した各項目の評価点を観点別に合計し、母娘の組ごとに観点別の

得点平均値を求め、散布図として Fig. 1, Fig. 2, Fig. 3 に示し、回帰関数でその関係性を捉えた。Fig. 1 に示したように、母娘のブラジャー装着に関する知識・理解の得点平均値のバラツキは非常に大きく、相関はみられなかった。母親のブラジャー装着に関する知識・理解と娘の知識・理解にはあまり関係性が見られない状況が明らかになり、母娘のブラジャー装着に関するコミュニケーションはほとんど行われていないのではないかと推察される。

Fig. 2 に示したように、母親のブラジャー装着に関する実態・行動を問う項目の得点平均値が高いほど、娘の得点平均値が高いという傾向がみられた ($r^2=0.179$, $p<0.01$)。母娘はコミュニケーションを取れていなくても、日常の母親の行動は娘に影響をもたらしていると考えられる。

Fig. 3 に示したように、ブラジャー装着に関する関心・意欲を問う項目の得点平均値も分散が大きく、相関はみられなかった。ブラジャー装着についてはデリケートな内容であるため、それに対して母娘はそれぞれの考えをもっており、ブラジャー装着やその知識の習得への関心度も多様であると推察される。

また、各項目別に母娘の相関関係を確認するため、それぞれの相関係数を算出し Table 5 に示した。有意差がみられた項目の相関係数を太字で表示した。

知識・理解、関心・意欲では、正の相関関係はみられなかった。実態・行動では、項目 8, 9, 11 で母娘間の正の相関がみられた (項目 8 : $r=0.387$, $p<0.05$, 項目 9 : $r=0.450$, $p<0.01$, 項目 11 : $r=0.394$, $p<0.05$)。先述したように日常の母親の行動は娘に影響を与えてい

たが、項目 8 の母娘の相関から、特に自分のブラジャーのサイズに留意している母親の娘もブラジャーのサイズに注意を払っていた。また、項目 9 の相関から、ブラジャーを購入する際に試着や採寸をしている母親の行動に影響を受けたことにより、娘は試着採寸を行っていたと考えられる。項目 11 では、より身近な女性と乳房発達やブラジャー装着について相談している娘の母親は、娘との話し合い頻度が高いことが示された。これより、娘の相談相手は母親であると推測できた。

一方、上記の知識・理解を問う項目として捉えた質問項目への回答結果に基づいて明らかになった関係性より、母娘はブラジャー装着に関するコミュニケーションが取

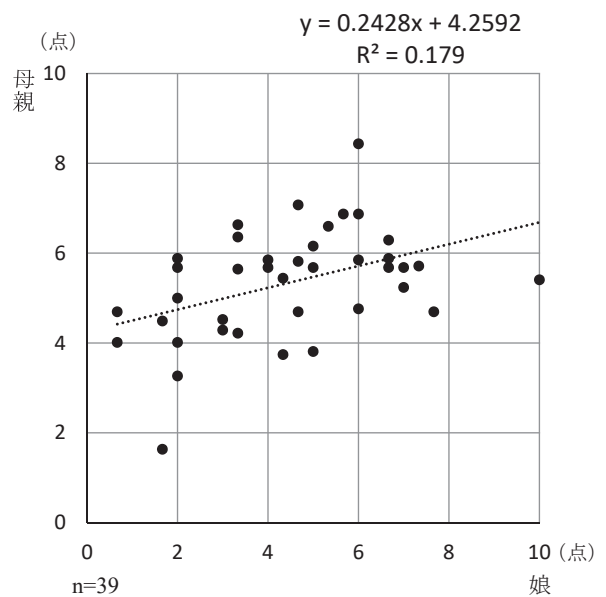


Fig. 2 実態・行動における母娘の得点平均値の関係性

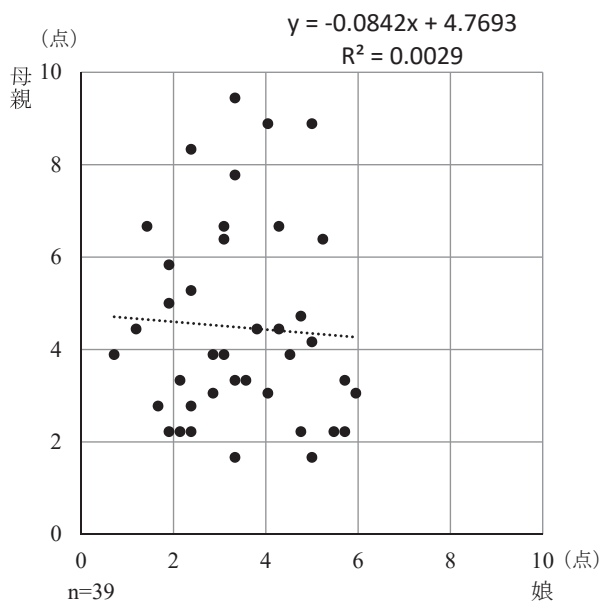


Fig. 1 知識・理解における母娘の得点平均値の関係性

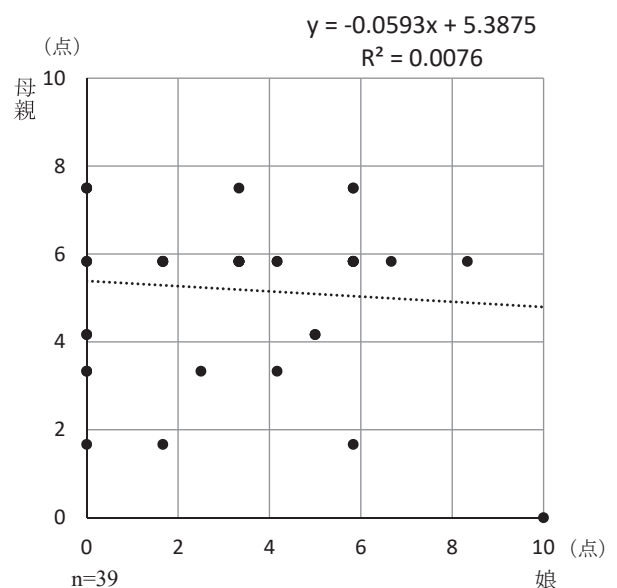


Fig. 3 関心・意欲における母娘の得点平均値の関係性

Table 5 母娘の項目間の相関係数

娘 母親	知識・理解						実態・行動					関心・意欲		
	1.乳房発達のstep1	2.乳房発達のstep2	3.乳房発達のstep3	4.下着が健康に影響があり	5.成長期向けのブラジャー	6.ブラジャーのサイズ表示	7.自分の乳房の膨らみ始めた時期	8.自分のブラジャーのサイズ	9.ブラジャー購入時の試着や採寸状況	10.ブラジャーの正しい洗濯方法や干し方	11.月経、乳房の変化やブラジャーについての相談頻度	12.乳房の変化とブラジャーの学習意欲	13.ブラジャーについて学校で教えること	
知識・理解	1.乳房発達のstep1	-.050	-.127	-.076	-.048	.118	-.316	.000	-.132	.161	-.163	.135	-.201	-.298
	2.乳房発達のstep2	-.012	-.164	-.237	.092	.112	-.260	.000	-.147	.032	-.017	.232	-.133	-.183
	3.乳房発達のstep3	.000	-.156	-.225	.064	.147	-.221	.184	-.110	.022	-.090	.217	-.108	-.176
	4.下着が娘の健康に影響があり	-.182	.045	.065	-.106	-.051	.051	.040	.120	.087	-.204	-.214	-.077	-.302
	5.成長期向けのブラジャー	.233	-.212	-.177	-.070	.261	.056	-.211	.000	.079	.185	.119	-.141	.038
	6.ブラジャーのサイズ表示	-.156	-.026	-.037	-.245	.122	.225	.231	.000	.239	-.123	-.075	-.081	-.206
実態・行動	7.娘の乳房の膨らみ始めた時期	.095	.065	.094	-.110	.278	-.082	.293	.098	.266	.072	-.019	-.059	-.046
	8.自分のブラジャーのサイズ	.035	.115	.166	-.169	-.027	.156	-.129	.387*	.085	-.004	-.218	.012	-.242
	9.ブラジャー購入時の試着や採寸状況	-.020	-.014	.040	-.220	.088	.058	-.036	.255	.450**	.092	.065	-.179	-.270
	10.ブラジャーの正しい洗濯方法や干し方	-.198	.139	.010	-.024	.123	-.358*	.156	-.078	-.037	.114	.070	-.108	.039
	11.月経、乳房の変化やブラジャーについての相談頻度	-.029	-.208	-.300	.042	.182	-.449**	-.044	-.044	.157	-.121	.394*	.028	.100
関心・意欲	12.乳房の変化とブラジャーの学習意欲	-.230	.115	.166	-.094	.102	.286	0.000	0.000	-.069	-.044	.127	-.104	.170
	13.ブラジャーについて学校で娘に教えること	.120	.027	.135	.093	.192	.284	-.119	.198	.014	.078	-.050	.119	-.103

#項目内容は略されたもので、詳しくはTable 1の調査内容に参照

□ 知識・理解 □ 実態・行動 □ 関心・意欲

*: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$

れていないことが明らかになったが、それに加えて、娘に対する指導が望ましくないことも推測できた。すなわち、家庭での第二性徴に関わるブラジャー装着に関する教育はあまり機能しておらず、母親への情報提供が求められており、母親がコミュニケーションを取れる場所の提供や環境作りが必要と考えられる。

4. まとめ

以上より、母娘とも体の変化やブラジャーの装着に関する意識は高くない実態が明らかになり、女子高校生の娘は乳房の発達過程についての知識をほとんどもっておらず、自分の乳房の発達状況を把握しておらず、下着は発達や健康と関係があるという認識が低いことが分かった。また、多くの母娘ともに自分のブラジャーのサイズを知らず、購入時に試着採寸をせず、正しいブラジャーの手入れもあまり行っていなかった。さらに、母親は乳房の発達やブラジャー装着について娘とのコミュニケーションが不足しており、娘にブラジャーに関することに

ついてあまり教えていないことが明らかになった。体の変化やブラジャー装着についての正しい指導が求められているが、娘たちはそれについての関心をもっていない現状も明らかになった。母親は娘の体の発達状況に関心や注意を払っているが、自分も持っている知識に自信がなく、乳房の発達やブラジャー装着について学校教育に期待している実態がみられた。知識・理解および関心・意欲の観点では、母親と娘との関係性がみられなかった。しかしながら、母親の実態や行動は関係性がみられることが明らかになった。

第二性徴期におけるブラジャー装着に関する教育においては、ブラジャー装着に関する知識や技能の指導のほか、女子の第二性徴の体の変化や下着と健康との関係についての認識の育成も大切である。ブラジャー装着に関する教育の主な場は家庭にあるが、家庭の教育力を高めるため、学校で娘だけではなく、母親を対象としたブラジャー装着に関する教育や母親が交流できる場も必要と考えられる。

謝 辞

本研究の調査を行うに当たり協力いただいたA高等学校の生徒、保護者の皆さん、および先生方に心よりお礼申し上げます。

また株式会社ワコール総合企画室 弓戸貴子氏には、ブラジャー装着やその教育に関する資料の提供をしていただきました。ここに感謝の意を表します。

本研究の一部は、第64回日本家政学会中国・四国支部研究発表会において発表した。

文 献

- 1) 高部啓子, 布施谷節子, 有馬澄子. 女子短大生の他者のからだつきに対する評価. 家政誌. 1998, Vol. 49, No. 9, 1021-1026.
- 2) 知念葉子, 若子倫菜, 諸岡秀雄, 諸岡晴美, 松本陽一. 着衣時のバストシルエットの審美性に及ぼすブラジャーの形態の影響. *Journal of Textile Engineering*. 2009, Vol. 55, No. 1, 29-37.
- 3) 株式会社ワコール. “下着の基礎知識 ブラジャーの試着・フィッティング”. <https://www.wacoal.jp/advice/contents/post-8.html> (入手日: 2019.9.19).
- 4) トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社. “正しい下着のつけ方”. <https://jp.triumph.com/fitting> (入手日: 2019.9.19).
- 5) 山田智子, 安田晴美, 伊藤紀子. 家庭科「衣生活」領域の指導内容に関する基礎的研究—若年層における下着の着用形態について—. 鳥取大学教育学部研究報告, 教育科学. 1995, Vol. 37, No. 1, 79-88.
- 6) 佐野史子, 鈴田あゆ子, 山平トモ. 小学校女児のブラジャー装着に関する一考察. 千葉大学教育学部研究紀要Ⅲ, 自然科学編. 1997, No. 44, 165-175.
- 7) 福本富美子. 下着装着傾向と学校における下着教育. 日本衣服学会誌. 1998, Vol. 41, No. 2, 1-5.
- 8) 増田智恵, 浅井彩加. 母と娘の家族関係から見るファッション観の形成分類. 三重大学教育学部研究紀要, 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学・教育実践. 2016, Vol. 67, 125-139.
- 9) 細谷佳菜子, 服部由美子, 浅野尚美, 拓植泰子, 森透. 児童生徒の服装に対する意識と着装行動. 福井大学教育実践研究. 2007, Vol. 32, 157-165.
- 10) 教育家庭新聞. “思春期の子どもたちの下着に関する意識調査”. 2001年4月14日号. <https://www.kknews.co.jp/kenko/010414c.html> (入手日: 2019.9.20).
- 11) 教育家庭新聞. “思春期を迎えた女の子たちの下着に対する意識調査”. 2002年2月9日号. http://www.kknews.co.jp/kenko/020209_b.html (入手日: 2019.9.20).
- 12) 株式会社ワコール. “成長期の娘のブラジャーに関する母親の意識・行動調査”. https://www.wacoalholdings.jp/news/newsfile/51801_1.pdf (入手日: 2019.9.20).

ブラジャー装着に関わる意識 および行動の母娘の関係性

庄 莉莉^{1*}, 村上かおり¹, 鈴木 明子¹

現在, ブラジャーは女性の生活必需品となっており, 第二性徴期から乳房の発達やブラジャー装着についての知識をもってブラジャーを正しく装着することが求められる. 多くの研究によって第二性徴期における女子の下着装着の課題と下着教育の必要性が明らかにされているが, 下着教育に重要な役割を担っている母親は娘にどのような影響を及ぼしているのかは明らかになっていない. 本研究では, 質問紙調査によって母親とその娘である女子高校生のブラジャー装着に関する意識や行動の実態を明らかにし, 母娘間の関係性を分析することによって, 今後の下着教育の在り方に, 示唆を得ることを目的とした.

結果として, 母娘とも体の変化やブラジャー装着に関する意識は高いとは言えず, 装着に関する実態も望ましくないことが明らかになった. ブラジャー装着に関する知識・理解および関心・意欲の観点には, 母親と娘との関係性は見られなかった一方, 母親の実態や行動は娘に影響をもたらしていることが検証された. また, 娘は下着教育の場は家庭であるという認識が強いことが示されたが, 母親は自分の知識に自信をもっておらず, 下着装着について学校教育に期待している実態が見られた. 娘だけではなく, 母親を対象とした下着教育が必要であり, また, 母娘が交流できる場も求められると考える.